

日本海国土軸の形成に資する北陸新幹線等の整備について

【担当省庁】国土交通省

京都府・京都市共同提案

敦賀・大阪間について、必要な財源を確保し、整備を推進していただきたい。

環境アセスメント等においては、文化財の集積、豊かな地下水脈、広大な原生林といった京都の地勢や、その利用状況に鑑み、自然環境や生活環境の問題等について、慎重な調査と十分な環境保全対策の検討、丁寧な地元説明を実施していただきたい。

建設費の地方負担については、コスト縮減、貸付料の見直し、財政支援の拡充のために必要な予算の確保等により受益に応じた負担としていただきたい。

整備効果をより拡大するため、関西文化学術研究都市とのアクセス路線となる JR 片町線(松井山手～木津)の複線化等、速達性の向上が実現するよう協力していただきたい。

国の「幹線鉄道ネットワーク等のあり方に関する調査」を確実に実施するとともに、日本海国土軸形成に資する舞鶴を経て日本海に至る山陰新幹線を含めた北部地域の広域幹線鉄道のあり方が検討されるよう、適切に対応していただきたい。

【現状・課題等】

- 国土の総合的な発展を目指し、東京一極集中に歯止めをかけ、近畿・西日本の経済の活性化を図るためには、敦賀・大阪間の早期整備が必要であり、その実現には、安定的な財源の確保が必要
- 建設費の地方負担については、コスト縮減、貸付料の見直し、財政支援の拡充、既定の負担割合の変更も含めた地方負担の軽減により、受益に応じた負担とするための対応が必要
- 令和5年度予算に計上された「北陸新幹線事業推進調査」については、国において沿線住民の理解を得ながら着実に進め、施工上の課題を早期に解決する必要がある。

京都府 の担当課	建設交通部 交通政策課(075-414-4360)
-------------	---------------------------

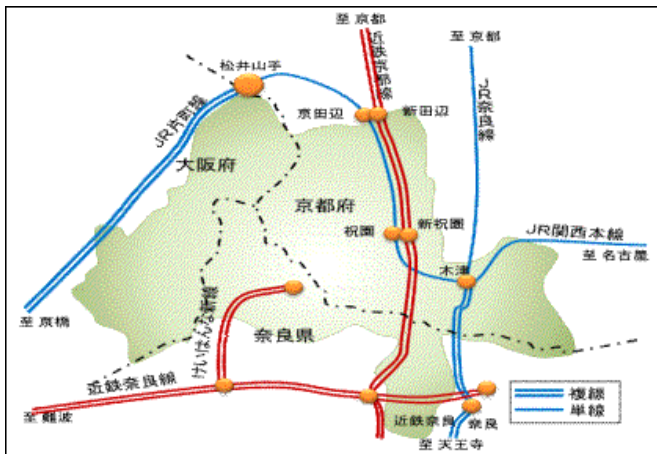
【国の事業等】

- 整備新幹線整備事業〔国土交通省〕 804 億円
- 整備新幹線建設推進高度化事業（北陸新幹線事業推進調査〔国土交通省〕） 12 億円

■北陸新幹線の現状計画図



■JR 片町線の現状



複線化・快速運行の場合
松井山手～木津
28分 ⇒ 17分